

会 議 録

会議名 (付属機関等名)	第24回川西市参画と協働のまちづくり推進会議		
事務局(担当課)	総合政策部 参画協働室		
開催日時	平成29年1月30日(月) 午後6時から午後8時		
開催場所	川西市役所 4階 庁議室		
出席者	委員	岩崎委員、相川委員、川口委員、藏原委員、佐藤委員 中井委員、山本委員、仲井委員、中島委員	
	その他	市民活動センター 三井センター長	
	事務局	総合政策部長、参画協働室長、同室主幹、同室主事、同室書記	
傍聴の可否	可	傍聴者数	0人
傍聴不可・一部不可の場合、その理由			
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開 会 2 委嘱状交付 3 市長挨拶 4 会長及び副会長の選出について 5 諮 問 6 会議公開運用要綱等について 7 議 事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 川西市参画と協働のまちづくり推進計画改定に伴う今後の進め方について (2) 川西市参画と協働のまちづくりに関する市民アンケート調査について 8 その他 9 閉 会 		

18 : 00～

1 開 会

事務局進行。

2 委嘱状交付について

大塩市長から、各委員に委嘱状交付。

任期は、平成 28 年 12 月 22 日から平成 30 年 12 月 21 日まで。

3 市長挨拶

大塩市長から挨拶。その後、各委員および事務局の自己紹介。

4 会長及び副会長の選出について

参画と協働のまちづくり推進条例施行規則第 6 条に基づき、会長及び副会長を選出。

※規則第 6 条「会長及び副会長は、委員の互選によりこれを定める。」

「事務局一任」との声があり、了承を得て、事務局提案。「会長に岩崎 恭典氏、副会長に田中 晃代氏」承認を得た。

5 諮問について

大塩市長から岩崎会長に諮問書を手渡し。

(内容) 平成 25 年度から 5 年間を基本期間として策定した「川西市参画と協働のまちづくり推進計画」について、計画期間の終了に伴い、社会・経済情勢や本市の状況の変化などに対応した推進計画の改定を行うため、審議会の意見を求めるもの。

(大塩市長退席)

6 会議公開運用要綱等について

○会長

次第の「6 会議公開運用要綱等について」事務局より説明をお願いします。

○事務局

「川西市参画と協働のまちづくり推進条例（資料2）」「同条例施行規則（資料3）」「川西市参画と協働のまちづくり推進会議 会議公開運用要綱（資料4）」「同会議の会議公開に係る傍聴要領（資料5）」に基づき、会議の設置根拠、所掌事務、会議公開の在り方、傍聴方法などについて説明。

7(1) 川西市参画と協働のまちづくり推進計画改定に伴う今後の進め方について

○会長

次第の「7（1）川西市参画と協働のまちづくり推進計画改定に伴う今後の進め方について」事務局より説明をお願いします。

○事務局

・平成29年度会議の進め方について（約5回）

1回目（7月下旬予定）：川西市参画と協働のまちづくり市民意識調査の集計、分析結果及び市民公益活動団体等へのヒアリング結果から抽出された課題について検証。

2、3回目（8月及び9月）：推進計画改定素案（事務局作成）の審議

4回目（10月）：推進計画改定の答申案最終確認。

5回目（11月）：市長への答申

・平成29年度会議終了後のスケジュール

12月もしくは平成30年1月：パブリックコメントの実施

平成30年2月：パブリックコメント回答、結果公表

7(2) 川西市参画と協働のまちづくりに関する市民アンケート調査について

○会長

次第の「7（2）川西市参画と協働のまちづくりに関する市民アンケート調査について」事務局より説明をお願いします。

○事務局

- ・「川西市参画と協働のまちづくりに関する市民アンケート調査（案）（資料7）」に基づき説明。
- ・事前送付した調査票（案）について、「参画と協働のまちづくり推進計画」改定に向けた基礎資料とするための市民アンケート調査を2月3日（金）から2月24日（金）までの約3週間の期間で実施する予定。
- ・調査票は、無作為で抽出した満16歳以上の市民2,000人を対象に郵送。
- ・返送された調査票は、委託業者が集計、分析を行い、報告書を取りまとめる予定。
- ・皆さまには、事前に報告書を送付させていただき、次回の推進会議で報告書をお目通しいただき、抽出された課題について検証していただく予定。
※調査票（案）の設問内容の詳細については、事前送付済なので説明省略
- ・事務局では、本日皆さまからいただいた意見をとりまとめ、本調査票（案）を最終案として市民アンケート調査を実施。

○会長

アンケート内容等について、意見・質問を賜りたい。

○各委員からのご意見

（各問について）

問1・2

- ・「全く知らない」「知らなかった」の場合、そのあとの回答する気になれないのでは。

問6

- ・問6は、「協働を進めるにあたって」という趣旨の内容。そうすると、設問5の「参加を促す啓発」とすると、何の参加か分からない。「市民の協働の理念の啓発の取り組み」などはどうか。
- ・参画と協働のまちづくりでは、「官民」の協働だけでなく、「民民」の協働もひとつのキーワード。そのため、「様々な主体が会う場づくり」という設問を追加してはどうか。

問8

- ・ひとつひとつの設問が抽象的。普段、一般市民としては、どのイベントが、「市の参画と

協働の取り組み」位置付けられるか分からない。

- ・具体的な事業名を明記した方がイメージしやすい。
- ・何を聞きたいのか。民間の方（一般市民など）は、社協、市民活動センター、市の事業の違いを明確に認識していないケースが多い。
- ・複数選択にすると、手法の有効性の比較はできない。中身の補足が必要では。テーマごとに、必要な手法が異なる。
- ・「現在は、このような取り組みをしていますが、あなたが下記の中で①知っているもの、②参加したことがあるもの。はどれか」にしたほうがよいのでは。
 - （事務局）現行の推進計画に位置付けている取り組みを記載している。

問 16

- ・活発かどうかは、主観的な内容ではないか。回答者が、「行われていない」と感じてても、現に地域ではコミュニティ組織などを中心に、様々な活動が行われており、実情と相反するのではないか。
- ・問 15で「知っているか」、問 19で「参加したことがあるか」を記載しているので、内容的に重複しているから省いては。
- ・あえて主観を聞いて、足りない部分を補うのもいいのでは。アンケートは評価ではないので、主観を聞くこと自体は問題ない。

問 17

- ・全国の活動団体等にお聞きしても、「財政支援」が必要であると答えるケースが多い。
- ・「行政への申請書類や事務手続きの軽減化」という設問はどうか。アンケート結果が施策を動かす形になるべきでは。
 - （事務局）「財政的支援」については、その選択肢に回答が集中することを懸念して、意図的に外した。

問 21、22

- ・地域課題は、これらの設問に集約されると考える。
- ・地域情報（コミュニティ誌）を全戸配布しているが、反応の差があり、情報発信の難しさを実感している。

問 23

- ・選択肢が多すぎる。
- ・設問 10, 13 などは類似しているため、統合できるのでは。
- ・抽象的な内容は省くべきでは。
- ・設問 11 については、「①参加の仕方がわからない、②初心者が参加できない」という 2 つに区別してはどうか。

問 37

- ・男女共同参画の観点からすると、「3 その他」を設けるべきでは。
- ・自認する性で、自由記載にしては
- ・自認する性については、試したことがあるが、無回答も多かった。
 - （事務局）市内部の状況を確認しつつ、判断。
 - （会長）こうした（ジェンダーの）内容も市長がおっしゃった「社会情勢」。時代の状況に合わせて、参画と協働のあり方も変化していく。

問 40・35

- ・地域の課題がリンクする。

（全般について）

- ・市の文化、市民文化のビジョン、方向性が伝わってこない。どのような文化都市にしていきたいのか。（問 8、33、34 など）市民はそこまで思いを読み切れないのではないか。そも

そも参画と協働がなぜ川西に必要なのかという説明が必要。市長挨拶部分に加筆してはどうか。

・市長挨拶部分に、資料2 条例前文記載の、「市民等の行政活動への参画や自主的なまちづくり活動がこれまで以上に求められています。」という趣旨を盛り込んではどうか。

→（事務局）アンケート冒頭の市長挨拶文が難しくなると、アンケートの回答が減るのではとの思いがあった。頂いたご意見を基に、事務局で修正。

・「行政情報について」というタイトルについて、行政の情報のみならず、地域の情報も含んでいるため、「行政又は地域情報について」とすべきではないか。

→（事務局）頂いたご意見を基に、事務局で修正。

・アンケート内容の並び順（配列）は何か意図することはあるのか。福祉関係の設問などは、比較的はじめのほうにくるのでは。

→（事務局）特に思惑はない。頂いたご意見を基に、事務局で修正。

・進んでいるか「わからない」場合、答えようがない。そのため、「わからない」という選択肢を設けてはどうか。

→（会長）すべてがわからないとなると、アンケートとして意味あるのかという問題もある。

→（事務局）頂いたご意見を基に、事務局で検討。

・問全体の流れについて、まずは身近な、「地域コミュニティ」の問いから入り、そのあと「参画と協働」の問いにしてはどうか。

→（事務局）頂いたご意見を基に、事務局で修正。

・行政アンケートで、回答したくなる、返送したくなる方法。答えた結果がそのあとどうな

るか、どう反映されるのか。HPに掲載など関わった痕跡が残るように工夫すべきでは。

→（事務局）頂いたご意見を基に、事務局で検討。

・無作為でアンケート送付する場合、地域ごとの年齢的割り振りなどを行うのか。特定の地域に偏ると、全体の意見としても偏りが出るのはではないか。

→（事務局）システム上は、うまく振り分けを行っていると言われている。回答状況により、若者や高齢者の回答割合に差がでるのは致し方ない。

・ヒアリングの対象は？

→（事務局）①各コミュニティ組織

②市民活動団体（NPO、ボランティアグループなど）

○会長

各委員から出された意見等をふまえて、事務局でアンケート調査票（案）を修正し、アンケート実施することとします。

8 その他

<市民活動センター長より、同センターの「事業概要」の紹介>

○事務局（次回推進会議の日程調整）

次回の推進会議は、7月中旬以降に開催したい。本日も欠席の田中委員の日程を確認のうえ、事務局で改めて日程調整を行うことで確認。

9 閉会